

令和 6年度予算見積調書

課室名：疾病対策課
 担当名：精神保健担当
 内線：3565

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
S190	認知症医療支援体制整備事業費		一般会計	衛生費	公衆衛生費	精神保健費	認知症医療対策費	
事業期間	平成28年度～	根拠法令	認知症総合戦略推進事業実施要綱 認知症疾患医療センター運営事業実施要綱		針路	03 介護・医療体制の充実	SDGsゴール	3
					分野施策	0301 地域で高齢者が安心して暮らせる社会づくり	SDGsターゲット	3-4
1 事業の概要			5 事業説明					
認知症の早期発見・早期診断・早期治療の徹底と、身近で充実した認知症医療の体制整備を推進し、高齢化の進行で増加する認知症へ対応する。 ア 認知症検診事業 62千円 イ 認知症疾患医療センター運営事業 25,200千円 ウ 地域連携会議 180千円			(1) 事業内容 ア 認知症検診事業 62千円 認知症の早期発見・早期診断・早期治療を促進するため、市町村が実施する70歳の県民を対象とした認知症検診事業に対し、埼玉県国民健康保険保険給付費等交付金を交付する。 イ 認知症疾患医療センター運営事業 25,200千円 地域の認知症医療提供体制の拠点としての活動を行う認知症疾患医療センターの運営を委託する。 ウ 地域連携会議 180千円 認知症疾患医療センターと地域の医療機関や地域包括支援センターとの連携強化を図るための方策を検討する。 (2) 事業計画 ア 埼玉県国民健康保険保険給付費等交付金を活用し、市町村が実施する認知症検診事業の財政的支援を行うことで、認知症検診事業の普及を図る（埼玉県国民健康保険保険給付費等交付金：828人×2,000円=1,656千円） イ 認知症疾患医療センター運営事業 令和4年度:9センター 令和5年度:9センター 令和6年度:9センター ウ 地域連携会議 医療・福祉の連携強化を推進するための連携会議の開催。 (3) 事業効果 認知症を早期に発見し治療に結びつける体制を整備することで、住み慣れた地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができる環境の整備に寄与できる。 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 地域の医療機関、医師会等と連携					
2 事業主体及び負担区分								
イ (国1/2・県1/2) ア、ウ (県10/10)								
3 地方財政措置の状況								
なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員								
9,500千円×2人=19,000千円								
予算額		財源内訳					一般財源	前年との対比
		国庫支出金						
決定額	25,442	12,600					12,842	
前年額	25,507	12,600					12,907	

事業内訳書

事業名	認知症医療支援体制整備事業費		
単位事業名	認知症健診事業	予算額	62千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	62	△62	
合計	62	△62	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	62	△62	認知症健診事業調整 31回分
合計	62	△62	

単位事業名	認知症疾患医療センター運営事業	予算額	25,200千円
-------	-----------------	-----	----------

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金・ 公衆衛生費補助金	12,600	0	精神保健医療費補助金 補助率 1/2
一般財源	12,600	0	
合計	25,200	0	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	25,200	0	認知症疾患医療センター運営事業委託 9センター分
合計	25,200	0	

単位事業名	地域連携会議	予算額	180千円
-------	--------	-----	-------

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	180	△3	
合計	180	△3	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	166	0	埼玉県医師会及び認知症疾患医療センター委員報償費 12人分
需用費	2	0	食糧費
使用料及び賃借料	12	△3	会議室使用料 1回分
合計	180	△3	